

## 令和6年度医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画に対する評価

- ① 外来診療時間の短縮、地域の他の保険医療機関との連携などの外来縮小の取組み
- ② 院内保育所の設置（夜間帯の保育や病児保育の実施が含まれることが望ましい）
- ③ 医師事務作業補助者の配置による病院勤務医の負担軽減
- ④ 病院勤務医の時間外・休日・深夜の対応についての負担軽減及び処遇改善
- ⑤ 看護補助者の配置による看護職員の負担軽減

評価基準

- A 89%～100%以上
- B 71%～88%
- C 50%～70%
- D 0%～49%

| 対応番号 | 項目           | 令和6年度目標  | 令和6年度実績   | 評価 | 今後の目標、取り組み   | 備考         |
|------|--------------|--|---|----|--|------------|
| ①    | 地域の医療機関との連携  | 地域の医療機関からの紹介率：89%以上<br>地域の医療機関への逆紹介率：116%以上                              | 地域の医療機関からの紹介率：86.6%<br>地域の医療機関への逆紹介率：124.0%   | B  | 逆照会率は目標値を超えることができた。照会率の改善を含め今後も同水準を確保できるよう継続的に取り組みを行う。   | 半田病院新改革プラン |
| ②    | 院内保育所の設置     | 職員へのヒアリングを行い、体制の見直しを今後も継続し、より職員のニーズに合わせた運営を行えるようにする。新病院の開院に向け保育所設置準備を行う。 | 令和3年度10月から委託運営を行い利用者範囲の拡大をができるよう体制を整備している。  | A  | 職員へのヒアリングを行い、体制の見直しを今後も継続し、より職員のニーズに合わせた運営を行えるようにする。   |            |
| ③    | 医師事務作業補助者の配置 | 15:1加算取得人員配置と外来業務以外での業務分担を加味し医師事務作業補助者を36名確保                             | ・15 対1補助体制加算(R7.4～)<br>・令和7年3月31日現在医師事務作業補助者人数:38名  | A  | 15:1加算維持のための人員配置と外来業務以外での業務分担を加味し医師事務作業補助者を現状どおり確保する。  | 半田病院新改革プラン |
| ④    | 時間外勤務の管理     | 月の超過勤務時間45時間以内<br>新病院開院準備に伴う時間外労働増加に対し、産業医との面談勧奨等健康管理に努める。               | 月45時間以上の超過勤務を行った職員数(年間延べ人数):159名<br>4月10名、5月10名、6月8名、7月7名、8月6名、9月4名、10月12名、11月9名、12月9名、1月20名、2月18名、3月46名<br>特殊理由(新病院開院に向け対応、祝日の出勤、契約) | C  | 昨年度より増加したが、新病院開院に向けた時間外労働が原因であるため、次年度以降は減少するよう努める。特殊な理由以外での45時間以上超過勤務者0人を維持するため、引き続き各所属において効率的な業務分担や勤務体制の改善に努める。 |            |
| ⑤    | 看護補助者の配置     | 離職防止対策に①職場環境の整備②教育・研修支援を行う。※看護助手定員確保(日勤65名・夜勤21名)                        | 離職防止策の①職場環境の整備②ランチョンセミナーを開催。離職率15.1%(8名)<br>看護補助派遣職員の配置(6名)<br>令和7年3月31日現在(53名)   | B  | 離職防止策①②を継続し、離職率を前年度より改善する。<br>看護補助派遣職員の配置を引き続き行う。  | 半田病院新改革プラン |

半田病院安全衛生委員会

## 令和7年度医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

- ① 外来診療時間の短縮、地域の他の保険医療機関との連携などの外来縮小の取組み
- ② 院内保育所の設置(夜間帯の保育や病児保育の実施が含まれることが望ましい)
- ③ 医師事務作業補助者の配置による病院勤務医の負担軽減
- ④ 病院勤務医の時間外・休日・深夜の対応についての負担軽減及び処遇改善
- ⑤ 看護補助者の配置による看護職員の負担軽減

| 対応番号 | 項目           | 現状   | 7年度目標  |            |
|------|--------------|--|--|------------|
| ①    | 地域の医療機関との連携  | 地域の医療機関からの紹介率：86.6%<br>地域の医療機関への逆紹介率：124.0%  | 地域の医療機関からの紹介率：87%以上<br>地域の医療機関への逆紹介率：125%以上                                  | 半田病院新改革プラン |
| ②    | 院内保育所の設置     | 令和3年度10月から委託運営を行い利用者範囲の拡大をができるよう体制を整備している。   | 職員へのヒアリングを行い、体制の見直しを今後も継続し、より職員のニーズに合わせた運営を行えるようにする。                         |            |
| ③    | 医師事務作業補助者の配置 | ・15対1補助体制加算<br>・令和7年3月31日現在医師事務作業補助者人数：38名   | 15:1加算維持のための人員配置と外来業務以外での業務分担を加味し医師事務作業補助者を現状どおり確保する。                        | 半田病院新改革プラン |
| ④    | 時間外勤務の管理     | 月45時間以上の超過勤務を行った職員数(年間延べ人数)：159名<br>4月10名、5月10名、6月8名、7月7名、8月6名、9月4名、10月12名、11月9名、12月9名、1月20名、2月18名、3月46名<br>特殊理由(新病院開院に向け対応、祝日の出勤、契約 | 月の超過勤務時間45時間以内   |            |
| ⑤    | 看護補助者の配置     | 離職防止策の①職場環境の整備②ランチオンセミナーを開催。離職率15.1%(8名)<br>看護補助派遣職員の配置(6名)<br>令和7年3月31日現在(53名)  | 離職防止対策に①職場環境の整備②教育・研修支援を行う。<br>看護補助者派遣職員を引き続き配置する。<br>※看護助手定員確保(日勤65名・夜勤21名) | 半田病院新改革プラン |

# 令和6年度病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画に対する評価

## 必ず計画に含む

A 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担

①～⑥のうち少なくとも2項目以上を含んでいること。ただし、処置又は手術の休日加算1、時間加算1、深夜加算1の届け出に当たっては必ず③を計画に含み、かつ、①②及び④～⑥のうち少なくとも2項目以上を含んでいること。

①勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施

②前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休憩時間の確保（勤務間インターバル）

③予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮

④当直翌日の業務内容に対する配慮

⑤交替勤務制・複数主治医制の実施

⑥育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置を活用した短時間正規雇用医師の活用

評価基準

A 89%～100%以上

B 71%～88%

C 50%～70%

D 0%～49%

| 対応番号 | 項目                             | 令和6年度目標                                 | 令和6年度実績   | 評価 | 今後の目標、取り組み                        | 備考 |
|------|--------------------------------|---|---|----|-----------------------------------|----|
| A    | 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担 | 医療関係職種間の連携体制を維持し、必要に応じて職種ごとの役割分担を推進する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初診時の予診の実施（一部看護師）</li> <li>・入院の説明の実施（一部看護師）</li> <li>・服薬指導（看護師、薬剤師）</li> <li>・静脈採血等実施（看護師、臨床検査技師）</li> <li>・検査手順の説明の実施（医師事務作業補助者、一部看護師）</li> </ul> | B  | 今後も医師事務作業補助者の人数を増やすなどして分担の効率化を図る。 |    |
| ③    | 当直翌日の業務内容に対する配慮                | 原則宿直の翌日の業務について、外来受診等を行わない配慮を行う。         | 内科系は外来診療のある前日に当直を割り当てない配慮を行っている。外科系は希望を聞き取り日程調整を行っている。  | B  | 引き続き同程度の柔軟な対応を行うようにする。            |    |
| ④    | 予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮             | 原則宿直の翌日の業務について、予定手術を行わない配慮を行う。          | 術後の経過等の関係で特定の科に対し配慮を行っている。また、当直の希望を聞き取り日程を調整している。   | B  | 引き続き同程度の柔軟な対応を行うようにする。            |    |
| ⑥    | 短時間正規雇用医師の活用                   | 本人希望の取得時間に対する実際の取得率の向上<br>現状45.7%⇒目標50% | <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児短時間勤務制度利用者：1名</li> <li>・部分休業制度利用について、本人希望の取得時間に対する取得率71.0%</li> </ul>   | A  | 目標値をさらに向上し取組を継続する。                |    |

半田病院安全衛生委員会

# 令和7年度病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

## 必ず計画に含む

A 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担

①～⑥のうち少なくとも2項目以上を含んでいること。ただし、処置又は手術の休日加算1、時間加算1、深夜加算1の届け出に当たっては必ず③を計画に含み、かつ、①②及び④～⑥のうち少なくとも2項目以上を含んでいること。

- ①勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施
- ②前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休憩時間の確保（勤務間インターバル）
- ③予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮
- ④当直翌日の業務内容に対する配慮
- ⑤交替勤務制・複数主治医制の実施
- ⑥育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置を活用した短時間正規雇用医師の活用

| 対応番号 | 項目                             | 現状   | 7年度目標  |
|------|--------------------------------|--|--|
| A    | 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初診時の予診の実施（一部看護師）</li> <li>・ 入院の説明の実施（一部看護師）</li> <li>・ 服薬指導（看護師、薬剤師）</li> <li>・ 静脈採血等実施（看護師、臨床検査技師）</li> <li>・ 検査手順の説明の実施（医師事務作業補助者、一部看護師）</li> </ul> | 医療関係職種間の連携体制を維持し、必要に応じて職種ごとの役割分担を推進する。働き方改革推進会議において、推進の検討を行う。  |
| ③    | 当直翌日の業務内容に対する配慮                | 内科系は外来診療のある前日に当直を割り当てない配慮を行っている。外科系は希望を聞き取り日程調整を行っている。   | 原則宿直の翌日の業務について、外来受診等を行わない配慮を行う。  |
| ④    | 予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮             | 術後の経過等の関係で特定の科に対し配慮を行っている。また、当直の希望を聞き取り日程を調整している。  | 原則宿直の翌日の業務について、予定手術を行わない配慮を行う。   |
| ⑥    | 短時間正規雇用医師の活用                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育児短時間勤務制度利用者：1名</li> <li>・ 部分休業制度利用について、本人希望の取得時間に対する取得率71.0%</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育児短時間勤務職員の採用</li> <li>・ 部分休業制度について、本人希望の取得時間に対する取得率の向上<br/>現状71.0%⇒目標75%</li> </ul> |

## 令和6年度看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取り組み内容

- ア 業務量の調整
- イ 看護職員と他職種との業務分担
- ウ 看護補助者の配置
- エ 短時間正規雇用の看護職員の活用
- オ 多様な勤務形態の導入
- カ 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮
- キ 夜勤負担の軽減

評価基準

- A 89%～100%以上
- B 71%～88%
- C 50%～70%
- D 0%～49%

| 対応番号 | 項目                     | 令和6年度目標   | 令和6年度実績   | 評価 | 今後の目標、取り組み   | 備考         |
|------|------------------------|---|---|----|--|------------|
| ア    | 業務量の調整                 | 6年度目標時間：11時間                                      | 6年度実績時間：10.9時間  | A  | 令和6年度については目標を達成できた。引き続き目標を達成できるよう労働環境の整備を進める。        |            |
| イ    | 看護職員と他職種との業務分担         | 医療関係職種間の連携体制を維持し、必要に応じて職種ごとの役割分担を推進する。            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初診時の予診の実施（一部看護師）</li> <li>・入院の説明の実施（一部看護師）</li> <li>・服薬指導（看護師、薬剤師）</li> <li>・静脈採血等実施（看護師、臨床検査技師）</li> <li>・検査手順の説明の実施（医師事務作業補助者、一部看護師）</li> </ul> | B  | 医療関係職種間の連携体制を維持し、必要に応じて職種ごとの役割分担を推進する。               |            |
| ウ    | 看護補助者の配置               | 離職防止対策に①職場環境の整備②教育・研修支援を行う。※看護助手定員確保（日勤65名・夜勤21名） | <ul style="list-style-type: none"> <li>①看護助手部会を月1回開催し、職場環境や業務調整を実施。</li> <li>②ランチョンセミナーを開催し、ケアの実践能力向上や研修伝達をしている。</li> <li>③看護補助派遣職員の配置</li> </ul>   | B  | 引き続き離職防止策に取り組み、定員確保を目指す。                             | 半田病院新改革プラン |
| エ    | 短時間正規雇用の看護職員の活用        | 本人希望の取得時間に対する実際の取得率の向上<br>現状28.3%⇒目標35%           | 看護師の育児部分休業取得実績あり。<br>①本人希望の取得時間に対する取得率：30.0%<br>②取得者数：52人   | B  | 取得者数や本人の希望する時間の取得率が向上するよう職場環境の整備を進める。                |            |
| オ    | 多様な勤務形態の導入             | 看護師の異動希望に関する取り組み                                  | 所属、職種、雇用形態に合わせた多様な勤務スケジュールを導入している。また、人事評価にて部署や働き方に関する希望の聞き取りを実施している。  | B  | 異動希望や働き方に関する意見の集約方法について検討を行う。                        |            |
| カ    | 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮 | 院内保育所の運営の見直し<br>夜勤減免制度の活用<br>希望に応じた他部署への配置転換      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内保育所の設置（夜間保育含む）</li> <li>・子の看護休暇、介護休暇の付与</li> <li>・育児部分休業の承認</li> <li>・院内保育所に関するニーズ調査アンケートの実施</li> <li>・保育所の運営形態の見直しに関する方針を検討</li> </ul>         | B  | 職員へのヒアリングを行い、体制の見直しを今後も継続し、より職員のニーズに合わせた運営を行えるようにする。 |            |
| キ    | 夜勤負担の軽減                | 引き続き職員の希望を反映した勤務シフトを作成。                           | 夜勤回数が多くなならないよう勤務シフトを作成（夜勤専従の職員や特別な理由がある場合を除く）。  | B  | 夜勤の回数上限については引き続き8回を原則とする。                            |            |

## 令和7年度看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取り組み内容

- ア 業務量の調整
- イ 看護職員と他職種との業務分担
- ウ 看護補助者の配置
- エ 短時間正規雇用の看護職員の活用
- オ 多様な勤務形態の導入
- カ 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮
- キ 夜勤負担の軽減

| 対応番号 | 項目                     | 現状  | 7年度目標  |            |
|------|------------------------|---|--|------------|
| ア    | 業務量の調整                 | 6年度実績時間：10.9時間  | 7年度目標時間：10時間   |            |
| イ    | 看護職員と他職種との業務分担         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初診時の予診の実施（一部看護師）</li> <li>・入院の説明の実施（一部看護師）</li> <li>・服薬指導（看護師、薬剤師）</li> <li>・静脈採血等実施（看護師、臨床検査技師）</li> <li>・検査手順の説明の実施（医師事務作業補助者、一部看護師）</li> </ul> | 医療関係職種間の連携体制を維持し、必要に応じて職種ごとの役割分担を推進する。                                       |            |
| ウ    | 看護補助者の配置               | <ul style="list-style-type: none"> <li>①看護助手部会を月1回開催し、職場環境や業務調整を実施。</li> <li>②ランチョンセミナーを開催し、ケアの実践能力向上や研修伝達をしている。</li> <li>③看護補助派遣職員の配置</li> </ul>   | 離職防止対策に①職場環境の整備②教育・研修支援を行う。<br>看護補助者派遣職員を引き続き配置する。<br>※看護助手定員確保（日勤65名・夜勤21名） | 半田病院新改革プラン |
| エ    | 短時間正規雇用の看護職員の活用        | 看護師の育児部分休業取得実績あり。<br>①本人希望の取得時間に対する取得率：30.0%<br>②取得者数：52人   | ①本人希望の取得時間に対する取得率の向上<br>現状30.0%⇒目標35%<br>②取得者数の向上<br>現状52人⇒目標60人             |            |
| オ    | 多様な勤務形態の導入             | 所属、職種、雇用形態に合わせた多様な勤務スケジュールを導入している。また、人事評価にて部署や働き方に関する希望の聞き取りを実施している。  | 看護師の異動希望に関する取り組み   |            |
| カ    | 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内保育所の設置（夜間保育含む）</li> <li>・子の看護休暇、介護休暇の付与</li> <li>・育児部分休業の承認</li> <li>・院内保育所に関するニーズ調査アンケートの実施</li> <li>・保育所の運営形態の見直しに関する方針を検討</li> </ul>         | 夜勤減免制度の活用<br>希望に応じた他部署への配置転換   |            |
| キ    | 夜勤負担の軽減                | 夜勤回数が多くなならないよう勤務シフトを作成（夜勤専従の職員や特別な理由がある場合を除く）。  | 引き続き職員の希望を反映した勤務シフトを作成。  |            |